

# 会報 丘珠

丘珠連合町内会  
発行責任者 宮口 謙  
事務所 丘珠町183番地2  
TEL 781-4283  
FAX 784-8250

## 新年にあたっての ごあいさつ



丘珠連合町内会  
会長 佐々木 求

令和7年(2025年)を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より丘珠連合町内会の行事・活動に対し、多くの皆様よりご理解とご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。また、町内会を始め、地域福祉、防火防犯、交通安全、青少年育成、スポーツ、統計調査など、様々な分野で活発な取組を行っていただいていることに、改めて敬意を表する次第です。

さて昨年は、町内会の夏祭りなどの各種イベントが賑わい、町内会等による活動の大切さを改めて感じた一年でした。それに加えて、能登半島地震や各地の風水害により地域防災の重要性や、高齢化が進む中での健康づくりの必要性を感じる一年でもありました。

丘珠連合町内会においても、恒例となりつつある「おかだまウォーキング」を始めとして、高齢者の健康づくりを推進するスマイル健康教室などにおいて、健康づくりの場をご提供したほか、この1月には、地区で初となる厳冬期の防災訓練を実施して、地域の防災力を高めてまいりました。

今後も丘珠連合町内会は、より安全・安心で、住みやすい地域となるよう、行政等と連携しながら、各種事業を実施してまいります。なお一層のご協力をいただければ幸いです。

## \*パートナーシップ排雪について\*

現在、パートナーシップ排雪は、生活道路の7割にあたる2,600kmを対象延長として実施しており、作業期間は、おおむね35日間、事業費は、行政35億円と地域負担10億円の合計45億円です。

現在、市では、持続可能な生活道路除排雪のあり方について検討が進められており、生活道路3,800キロを50日間かけて排雪し、費用は全額市の負担とする案が有識者会議において示されました。前倒しや道路状況に応じて作業を進めることにより、費用を抑えて作業人員の確保につなげることを目指しています。地域の負担が軽減されることは喜ばしい一方で、除排雪のレベルが低下することも懸念されます。

市は令和7年度、白石区や西区などの4地域で新たな手法を試験的に実施し、今後の方針を決める予定ですので、パートナーシップ排雪制度はまだ当面続くと考えられます。



# 各部の活動報告



## 文化 部



文化部では、10月26日(土)・27日(日)、「丘珠文化祭」を開催しました。地域の皆さんからの絵画等の作品展示のほか、地域の保育園、学校による演奏、踊り等が披露されました。今回初となる札幌丘珠高校書道部によるパフォーマンスでは、ひととき大きな拍手が送られていました。また、丘老連主催の演芸まつりも行われ、芸術の秋のひとときを楽しみました。

## 福祉 部



<b>携帯用緊急時対応カード</b> 救急119番 警察110番  救急車を呼ぶべきか悩んだ時は「#7119」(救急安心センターさっぽろ)に電話してください。 丘珠地区社会福祉協議会		<b>緊急連絡先</b> 自宅電話: - - 自分の携帯電話: - - 家族・親族・民生委員・その他の連絡先: ( ) 電話: - - ( ) 電話: - - ( ) 電話: - -
<b>私は</b> ふりがな _____ 氏 名 _____ 生年月日 _____ 年 月 日 血液型 RH+- A B O AB _____ 住 所 札幌市東区 _____		<b>健康について</b> よく行く病院: _____ 病名: _____ 電話: _____ よく行く病院: _____ 病名: _____ 電話: _____ よく行く病院: _____ 病名: _____ 電話: _____ 特に注意してほしいこと(歳社歴、アレルギーなど)

地区社協、福祉のまち推進センターと連携して、高齢者の健康づくりを推進する「スマイル健康教室」、就学前のお子さんを対象とした子育てサロン「なかよし広場」を月1回開催しました。また、新たに「携帯用緊急時対応カード」を作成しました。

## 青少年部・体育 部



青少年部・体育部では、7月6日(土)に第2回「おかだまウォーキング」を開催して、約80名の方が参加しました。今回は、さとらんどにおいてスタンプラリー形式で実施。約1時間30分かけてウォーキングを楽しみました。また、11月には最近話題の「モルック」の体験会を実施しました。

## 防 災 部 ・ 防 犯 部



防犯部では、青色パトロールを定期的実施したほか、12月16日(月)には、札幌東防犯協会連合会主催の「歳末安全・安心の集い・青パト歳末出陣式」に参加しました。防災部では、1月18日(土)、丘珠地区では初めてとなる厳冬期の防災訓練を実施して、約70名が参加しました。厳冬期における避難所生活の過酷さを体験することができ、今後の防災活動に活かしていきます。

## 衛 生 部 ・ 女 性 部



衛生部・女性部では、6月21日(金)、丘珠ふれあいセンターの花壇において、認定こども園おかだまのりの園児さん約40名と一緒に花植えを行いました。また、5月30日(木)には、東区クリーンさっぽろ衛生推進協議会が主催する「ごみゼロの日キャンペーン」に協力し、東区役所前において街頭啓発を行いました。

## 交 通 部



交通3団体と連携して、交通安全市民総ぐるみ運動の一環として、春夏秋冬の計4回、丘珠郵便局様の協力も得て、街頭啓発を行いました。また、小学校のスクールゾーン周辺でも啓発活動を行いました。地域の交通死亡事故ゼロを目指して、引き続きご協力をお願い致します。



# モルックやりませんか



フィンランド生まれのスポーツ「モルック」は、昨年、函館において世界大会が開催されるなど、今注目のスポーツです。

モルックはルール自体がシンプルなので、少し説明を聞けば、すぐにどなたでも楽しめます。障がいの有無、性別や年代を問わず一緒に同じフィールドで楽しむことができるのも魅力の一つです。また、自分がどの数字の組み合わせであがるのか、また相手のあがりやをどう邪魔するか、などの戦略もとても重要なので、スポーツ経験のある方だから断然有利というわけではないところも、もともとスポーツをしていなかった人もハマる理由だと思われます。足し算さえできれば小さい子どもでも親しめるところ、道具と適度なスペースさえあれば気軽に始められるところなどもモルックの魅力といえます。

丘珠地区でも、昨年、高齢者の健康づくりを推進する「スマイル健康教室」において、また連合町内会主催での体験会を開催して、多くの方にご参加いただきました。

来年度は、さらにモルックに触れていただく機会を設けたいと思いますので、是非ご参加ください。



▲丘珠空港緑地公園での体験会の様子

## モルックとは…



モルック（木の棒）を投げて、倒れたスキットル（木製のピン）によって得点が加算され、先に50点取った方が勝ち。ルールは簡単！年齢性別問わず気軽に楽しめます。

## 受賞おめでとうございます

北海道社会貢献賞(地域活動推進功労者)  
消防団札幌市長表彰(勤続40年)及び  
北海道消防協会会長表彰(特別功績章)

北島 英司 様

札幌市統計功労者表彰(25年級)  
北海道知事感謝状(統計功労者20年級)  
札幌市青少年育成者表彰

山本 幹哉 様

山崎 稔 様

伊東 巖 様

上田 由美子 様

札幌市交通安全運動推進委員会会長表彰  
札幌市民生委員・児童委員永年勤続表彰(10年)

丘珠地区子ども会連絡協議会

荒井 賢志 様

對馬 美恵子 様

長年にわたるご尽力に敬意を表し、心よりお祝い申し上げます。